

# JOT

株主の皆様へ

2020年3月期 中間報告書

2019年4月1日～2019年9月30日



日本石油輸送株式会社

証券コード：9074

## Shift for the Next

### 安全の徹底と質の高いサービスで 未来への責任を果たします

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、当社第103期(2019年4月1日から2020年3月31日まで)中間期の事業概況のご報告をお届けするにあたり、謹んでご挨拶申し上げます。

今後のわが国経済は、緩やかな回復基調が続くとみられる一方、海外経済の不確実性の高まりや消費税率引き上げに加え、台風等の相次ぐ自然災害による影響も懸念されております。

当社グループの事業環境につきましては、乗務員不足の問題や人件費等の経費の増加もあり、依然として厳しい状況が続くものと予想されます。また、石油元売り各社の経営統合や合理化等が、今後、当社グループに様々な影響を及ぼすものと思われま

す。このような状況のなか、当社グループは、「Shift for the Next 安全の徹底と質の高いサービスで未来への責任を果たします」というキャッチフレーズのもとに、本年度を最終年度とする中期経営計画の達成を目指して、収益力の確保、成長分野の推進、生産性向上等への取組みを進めてまいります。

また、こうした取組みと並行し、安定輸送の継続に向け、引き続き雇用環境の改善による乗務員の確保や車両の拡充にも注力するとともに、乗務員への安全教育や安全運転支援装置の充実等、ソフト、ハードの両面から更なる安全性向上を図ることで、今後もお客様に安心してご利用いただける質の高いサービスの提供に努めてまいります。

中間配当金につきましては、1株当たり40円とさせていただきます。

株主の皆様には、今後とも変わらぬご支援ご高配を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長 原 昌一郎

2019年12月

## 第2四半期（中間期）連結決算の概況

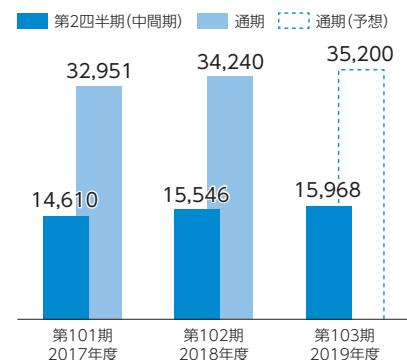
当社は、中期経営計画（2017年度～2019年度）の達成を目指して、輸送シェアの維持・拡大を通じた収益力の強化、LNG（液化天然ガス）輸送、水素輸送、化成品における海外輸送等の成長分野の推進等に取り組みました。

また、こうした取組みと並行し、安定輸送の継続に向け、雇用環境の改善等による乗務員の確保や車両の拡充にも注力しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は15,968百万円（前年同期比2.7%増）となりましたが、人件費および車両投資に伴う経費の増加により、営業利益は195百万円（同10.3%減）となりました。一方、受取配当金等が増加したため、経常利益は449百万円（同12.5%増）となり、また、社有不動産の売却により、親会社株主に帰属する四半期純利益は324百万円（同29.6%増）となりました。

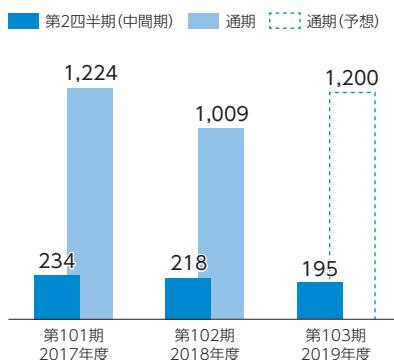
### 売上高

（単位：百万円）



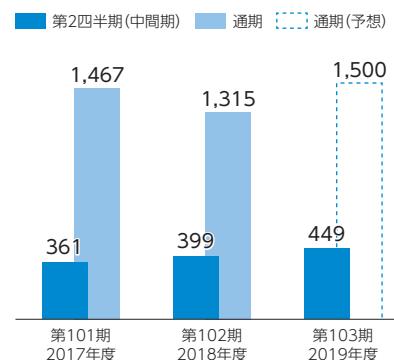
### 営業利益

（単位：百万円）



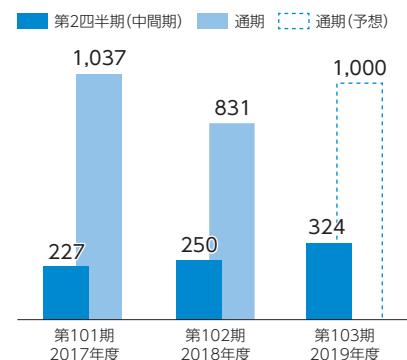
### 経常利益

（単位：百万円）



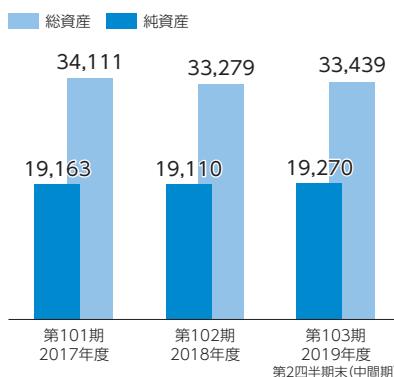
### 親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益

（単位：百万円）



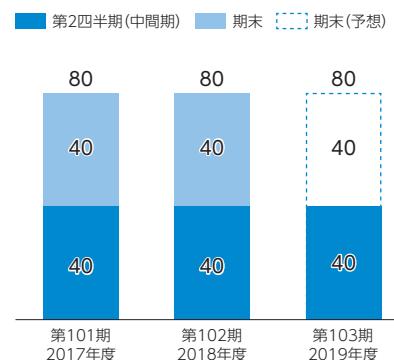
### 総資産・純資産

（単位：百万円）



### 1株当たり配当金

（単位：円）



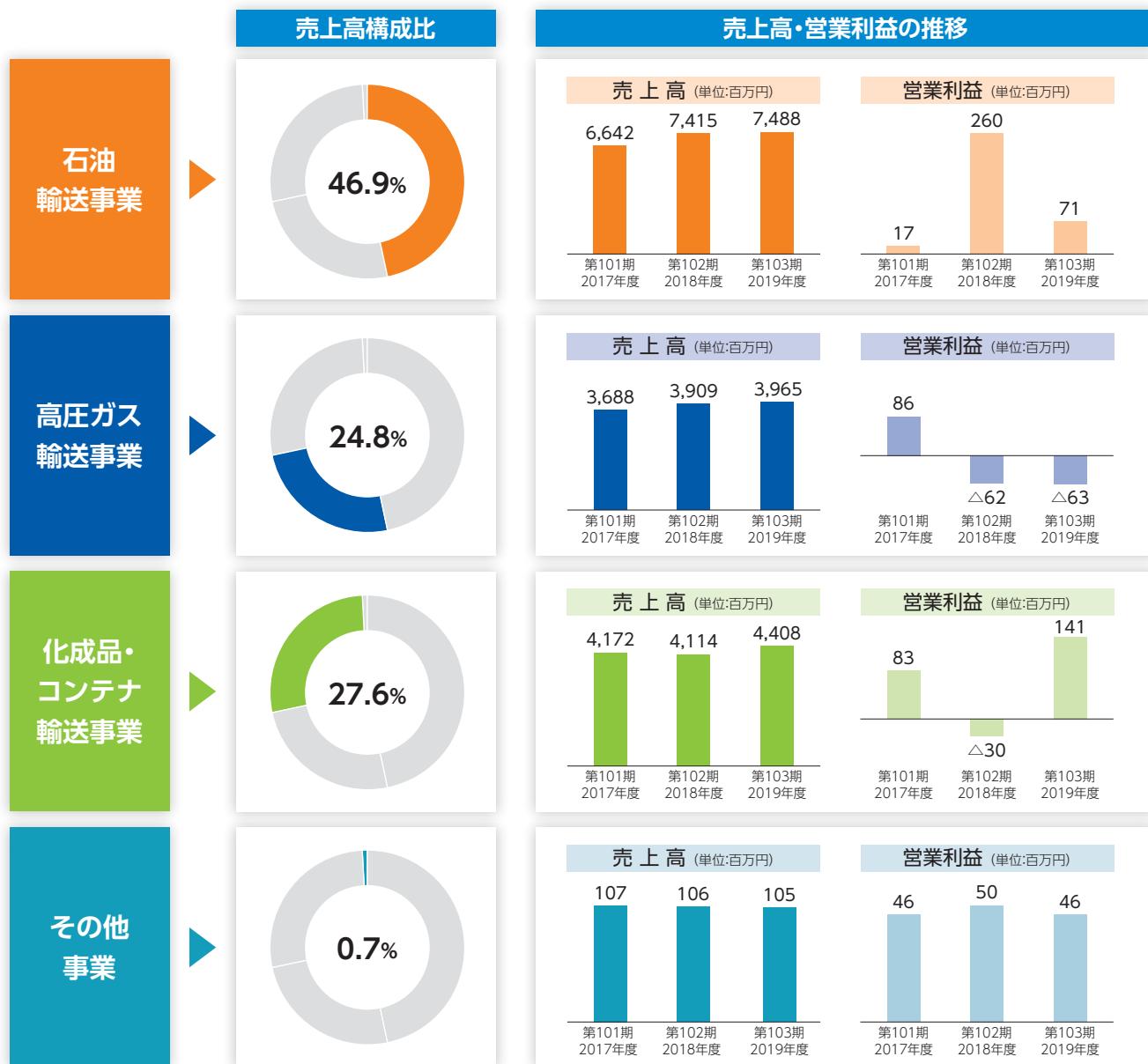
詳細な財務情報は、当社ホームページ「IR情報」をご参照ください。

<https://www.jot.co.jp/ir/>

日本石油輸送 IR

検索

## 第2四半期（中間期）セグメント別の概況（連結）



## 事業内容

環境に優しく、低コストで大量輸送が可能な鉄道タンク車輸送と、機動力があり柔軟性に富んだ自動車輸送という2つの異なる輸送モードを持つメリットを生かし、ガソリン、軽油、灯油等の燃料油の輸送を行っています。



タンクローリーによる輸送と、鉄道用タンクコンテナによる複合一貫輸送を行っています。全国各地のLNG(液化天然ガス)輸入基地および国産ガス田から、お客様のサテライト基地、工場等を結んでいます。



化成物輸送事業は、各種化学品、食品等の液体・粉粒体を輸送する各種コンテナのリースおよび様々な輸送モードを組み合わせた複合一貫輸送を展開しています。



コンテナ輸送事業は、農産物や食料品、工業製品の他、宅配便等、お客様のニーズに適した各種鉄道用コンテナをレンタル・リースしています。



太陽光発電事業を展開しており、現在、全国4か所にJOTソーラーステーションを設置しています。



## 第2四半期(中間期)の概況

売上高 **7,488**百万円 営業利益 **71**百万円

石油輸送事業につきましては、国内需要が減少するなか、売上高は維持・増収に努め前年並となりましたが、人件費および車両投資に伴う経費の増加により、営業利益は減少いたしました。

この結果、当事業における売上高は7,488百万円(前年同期比1.0%増)、営業利益は71百万円(同72.6%減)となりました。

売上高 **3,965**百万円 営業利益 **△63**百万円

高圧ガス輸送事業につきましては、LNG輸送において、鉄道輸送の一部終了や出荷地変更等による影響から減収となりましたが、LPG(液化石油ガス)輸送等が増収となり、売上高は3,965百万円(前年同期比1.4%増)となりました。一方で、利益面においては人件費等の増加により、63百万円の営業損失(前年同期は62百万円の営業損失)となりました。

売上高 **4,408**百万円 営業利益 **141**百万円

化成物輸送事業につきましては、新規案件の獲得による国内輸送の伸長に加え、海外輸送における料金見直しへの取組みが進捗し、売上高および営業利益は増加いたしました。

コンテナ輸送事業につきましては、使用料改定による増収に加え、昨年発生した西日本豪雨等の自然災害による影響の反動から、売上高および営業利益は増加いたしました。

この結果、当事業における売上高は4,408百万円(前年同期比7.2%増)、営業利益は141百万円(前年同期は30百万円の営業損失)となりました。

売上高 **105**百万円 営業利益 **46**百万円

太陽光発電事業につきましては、売上高はほぼ前年並となりましたが、大規模な定期点検を実施したため、営業利益は減少いたしました。

この結果、当事業における売上高は105百万円(前年同期比0.9%減)、営業利益は46百万円(同8.5%減)となりました。

## ～「ドライビングコンテスト」を開催しました～

JOTグループでは、「Shift for the Next 安全の徹底と質の高いサービスで未来への責任を果たします」というキャッチフレーズのもと、安全を最優先に、お客様に質の高いサービスをご提供できるよう取り組んでおります。

その一環として本年5月、株式会社エネックスにおいて、現場の最前線で活躍する乗務員が運転技術を競い合う「ドライビングコンテスト」を開催いたしました。当コンテストは、安全意識の高揚と運転技術の向上を目的として行われ、一定の間隔に並べたコーンの間をS字を描くように前進・後退で走行する「スラローム」や「縦列駐車」など、高度な運転技術を要する6種目を設定し、全国24車庫の代表選手たちが運転技術を十分に披露しました。また、本コンテストの開催に向け、各車庫の乗務員や事務員などが代表選手の練習をサポートし鼓舞することで、それぞれの安全に対する意識が向上し、会社全体の一体感を高めることもできました。

今後も、グループ全体で、乗務員の安全意識の高揚と運転技術の向上への取組みを継続して行ってまいります。



選手宣誓



競技スタート



競技中の選手の様子



ドライビングコンテスト参加者・関係者



狭い場所で車両を「く」の字に折り曲げながら行う「縦列駐車」



一番太いタイヤ幅+10cmの幅に置かれた空き缶の間をすり抜ける「直線走行」



日常業務において徹底している「5m前停車」

## 株式の状況

発行可能株式総数	6,000,000 株
発行済株式の総数	3,322,935 株
	(自己株式12,180株を含む)
株主数	2,745 名

## 大株主

株主名	持株数 (百株)	持株比率 (%)
JXTGホールディングス株式会社	9,644	29.13
株式会社光通信	1,441	4.35
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4)	1,286	3.88
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	964	2.91
株式会社三井住友銀行	788	2.38
小野寺 毅	740	2.24
日本車輛製造株式会社	669	2.02
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	576	1.74
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	512	1.55
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	438	1.32

## JOTグループ

株式会社エネックス

近畿石油輸送株式会社

株式会社ニチユ

株式会社ニュージェイズ

株式会社JKトランス

### 【株主名簿管理人 三井住友信託銀行】

- 電話 [フリーダイヤル] 0120-782-031 (平日 9:00~17:00)
- ホームページアドレス <https://www.smbt.jp/personal/agency/index.html>
- 郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部



TEL:03-5496-7671 (代表)  
<https://www.jot.co.jp/>

## 会社概要

商号	日本石油輸送株式会社
設立	1946年(昭和21年)3月27日
本社所在地	〒141-0032 東京都品川区大崎一丁目11番1号 (ゲートシティ大崎 ウエストタワー16階) TEL:03-5496-7671 (代表)
資本金	16億61百万円
従業員数	連結1,538名、単体160名
主要な事業所	北海道支店(札幌)・東北支店(仙台)・関東支店(川崎)・中部支店(名古屋)・関西支店(大阪)・九州支店(福岡)・シンガポール支店(シンガポール共和国)および新潟事業所
主要な事業内容	1. 石油製品(ガソリン・灯油等)の鉄道タンク車輸送・貨物自動車輸送 2. 高圧ガス(LNG等)の鉄道コンテナ輸送・貨物自動車輸送および複合一貫輸送 3. 石油化学製品等の鉄道コンテナ輸送・貨物自動車輸送ならびに国内および国際複合一貫輸送、各種コンテナのリース 4. 鉄道用冷蔵・冷凍コンテナ等のレンタル・リース 5. 太陽光発電事業

## 役員

### 取締役

代表取締役会長	栗本 透
代表取締役社長	原 昌一郎
取締役社長執行役員	高橋 文弥
取締役執行役員	田長丸 雅司
取締役執行役員	武本 修
取締役執行役員	岡崎 基太
取締役執行役員	松井 克浩
取締役執行役員	畑 義昭
取締役執行役員	大田 勝幸
社外取締役	草刈 隆郎
社外取締役	坂之上 洋子

### 監査役

常勤監査役	吉田 秀穂
常勤監査役	高野 潤
社外監査役	佐野 裕
社外監査役	齊藤 貴一

### 取締役を兼務しない執行役員

執行役員	青野 滋
執行役員	竹本 明彦
執行役員	大内 満



この冊子は、適切に管理された森林から生まれたFSC® 認証紙、植物油インキおよび有害な廃液の出ない水なし印刷で印刷しています。